

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2003-330397  
(P2003-330397A)

(43) 公開日 平成15年11月19日 (2003. 11. 19)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード <sup>*</sup> (参考)
G 0 9 F 19/00		G 0 9 F 19/00	Z
A 6 3 F 3/06		A 6 3 F 3/06	B
G 0 6 F 17/60	3 2 6	G 0 6 F 17/60	3 2 6
	5 0 4		5 0 4

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2002-139031 (P2002-139031)

(22) 出願日 平成14年5月14日 (2002. 5. 14)

(71) 出願人 301040084

アクセス情報株式会社

福井県敦賀市木崎12丁目17番1号

(72) 発明者 石川 博

福井県敦賀市三島町1丁目3番30号 寺田

マンション102号 アクセス情報株式会社  
内

(74) 代理人 100081581

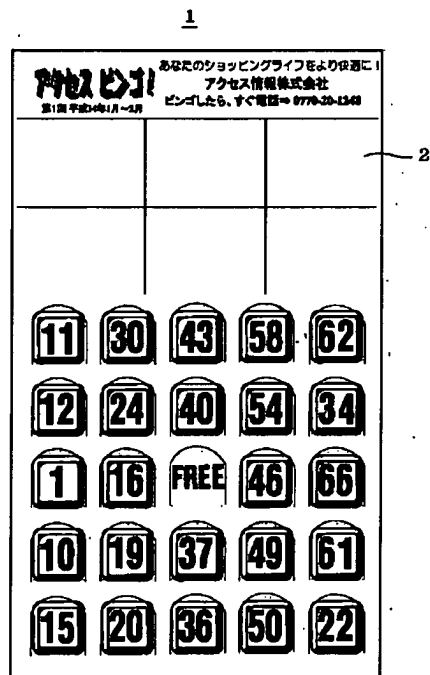
弁理士 内山 美奈子

(54) 【発明の名称】 ビンゴゲームによる広告方法及び広告入りビンゴゲーム

(57) 【要約】

【課題】 ビンゴゲームによる広告方法及び広告入りビンゴゲームにおいて、一定期間継続して広告を保存させ顧客の目にとまる機会を増大させ、広告効果を上げることのできる広告システムの提供

【解決手段】 一定時間間隔あるいは複数の一定時間間隔における通知により抽選結果が判明するゲームにおいて、広告欄をもうける。また、一定時間間隔あるいは複数の一定時間間隔における通知により抽選結果が判明する抽選あるいはゲームにおいて、広告欄をもうけ、一定時間あるいは複数の一定時間間隔における通知が届く間継続して保存・確認を必要とすることにより、広告効果を高めるシステムとする。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】一定時間間隔あるいは複数の一定時間間隔における通知により抽選結果が判明するゲームにおいて、広告欄をもうけたことを特徴とするゲーム。

【請求項2】一定時間間隔あるいは複数の一定時間間隔における通知により抽選結果が判明する抽選あるいはゲームにおいて、広告欄をもうけ、一定時間あるいは複数の一定時間間隔における通知が届く間継続して保存・確認を必要とすることにより、広告効果を高めたことを特徴とする時間継続型広告方法。

【請求項3】ビンゴゲームの番号の代わりに広告を掲載したことを特徴とするビンゴゲーム広告方法。

【請求項4】一定時間間隔あるいは複数の一定時間間隔における通知により抽選結果が判明するゲームにおいて、複数の広告欄をもうけ、通知の度に広告が入れ替わることを特徴とするホームページにおける広告付きビンゴゲーム。

【請求項5】該通知はE-mailにより行うことを特徴とする請求項1又は4記載のゲーム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、広告をいかに長時間何回も顧客の目にとまるようにするかについて工夫した広告方法及びシステムに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来、例えば、ある店舗のチラシ広告は、特定の売りだし日のみの広告内容となっている。また、広告店の広告部分は少なく、具体的な特価商品の掲載が主となっている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】従って、印刷費用と配布費用をかけた広告も、一瞬で捨て去られることが多く、費用の割には一般の顧客の目にとまる確率が低いのが問題であった。また、当り番号を付けた広告等も存在するが、当選したかどうかの通知は新聞で発表されたり、次の回の広告で発表されたり、店頭で発表されたりするものが多く、たまたまその発表を見逃すと自分が当選したのかどうかさえわからなくなる場合が多く、あまり実効性のある広告方法ではなかった。本発明では、時間間隔において、確実な通知を行うことで、一定時間その広告を確実に取り置くシステムを開発したものである。さらに、何らかの楽しみに絡めて広告効果の高める方法として、ゲームに広告を種々の方法で取り入れているものである。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】本発明の広告入りビンゴゲームは、一定時間間隔あるいは複数の一定時間間隔における通知により抽選結果が判明するゲームにおいて、広告欄をもうけたことを要旨とする。

【0005】本発明の時間継続型広告方法は、一定時間

間隔あるいは複数の一定時間間隔における通知により抽選結果が判明する抽選あるいはゲームにおいて、広告欄をもうけ、一定時間あるいは複数の一定時間間隔における通知が届く間継続して保存・確認を必要とすることにより、広告効果を高めることを要旨とする。

【0006】本発明のビンゴゲーム広告方法は、ビンゴゲームの番号の代わりに広告を縦横の樹目状に掲載したことを要旨とする。

10 【0007】本発明のホームページにおける広告付きビンゴゲームは、一定時間間隔あるいは複数の一定時間間隔における通知により抽選結果が判明するゲームにおいて、複数の広告欄をもうけ、一定の時間あるいは通知の度に広告が入れ替わることを要旨とする。

【0008】本発明のゲームは、通知をE-mailにより行うことを要旨とする。

## 【0009】

【発明の実施の形態】本発明における一定時間間隔とは、1週間置きとか3日置きというような一定間隔を数回から数十回続けるような状況を想定している。

20 【0010】時間間隔を置くのは、長時間顧客の目に広告がとまるようにして広告効果を上げるためであり、その効果に見合って、広告料金も設定可能である。

【0011】広告方法は、たとえば、ビンゴゲームの台紙に広告店あるいは広告商品などの広告内容を掲載する他、ビンゴゲームであれば、当たりの番号そのものを広告とすることも可能で、さらに、当たり番号を外すと、下より広告が顔を出すなど、広告が継続的に顧客の目に触れるようになっていればどのような方法でも良い。

30 【0012】次に当たり等の通知方法であるが、本発明は特にEメールで通知する構成を主としている。特にその通知方法をE-Mailで行うことで、顧客には確実に印象付けて通知案内が可能となる。その他、FAXでも、電話でも、店頭掲示でも可能なことはもちろんである。広告店に実際顧客に足を運んでもらう方法として、広告店限定で順次掲載しても良い。

【0013】また、番号等の通知の度に、広告内容が変化するようにして、顧客に広告アピールをおこなっても良い。

## 【0014】

40 【実施例】以下本発明の実施例を図1から3を参照して説明する。

【実施例1】本発明は、図1に示すようにビンゴゲームの台紙(1)上半分に6箇所の広告欄(2)を設けたものである。このようなビンゴゲームを一定の要件を満たした会員に配布し、数回〜数十回の当たり番号の通知により、会員である顧客が定期的に当たり番号を打ち抜き、打ち抜きが一列に並ぶまで、広告の掲載された台紙そのものを保存し、継続的に広告を目にすることになる。なお、本実施例では一定の資格を有する会員に本件広告付きゲーム台紙を配布したが、会員に限定せず、商

品を購入した顧客あるいは、一般の店舗・路上での無差別配布等を行っても良いことはもちろんである。

【0015】このような広告方法であれば、読まずに捨ててしまわれる可能性の強い1回限りの折り込み広告やダイレクトメールによる広告とは異なり、打ち抜き作業の度にいやでも広告が目にとまり、ビンゴが完成するころには広告内容を覚えるほどに鮮明に顧客の脳裏に焼きつくこととなり、非常に広告効果を高めることができることとなる。

【実施例2】本発明は実施例1の番号欄の番号の代わりに、10 広告を用いたもので、当たり広告を探す作業の中で、広告店の名称や広告商品を覚えてもらえる効果がある。

【実施例3】本発明は、ホームページ上における懸賞広告において、一定の時間継続を要件とする広告方法に関し、懸賞発表や当たり番号発表において、時間間隔を置いた複数回の発表により当選が決定される懸賞において、懸賞発表や当たり番号の発表毎に広告内容が入れ替

わることを特徴とする広告方法である。  
 【0016】例えば図(2)において、4個所の広告欄 20 (3)が設けられているが、発表の度に、(A)(B)(C)(D)の広告位置が入れ代わっても良いし、全く別の広告になってもよい。あるいは、入れ替わるのは常に(A)の位置の広告であり、新規に掲載されるときは(D)の位置から掲載され、順次(D)→(C)→(B)→(A)の順に入れ替わっても良い。一般に、同一面に広告を掲載しても、見る人によって、どの位置の広告が一番目に入りやすいかという注目位置が異なるため、各広告間における広告効果を公平にするためには、このような位置変更型の広告方法が広告効果を上げるこ 30 とを経験より見出したため、本発明に適用したものである。特にホームページでは、通信時間が気になる場合もあり、一瞬で画面を変えたり終了する場合があります、どの位置の広告であるかは、見るものにとって印象や脳裏への焼きつき方が異なることが多い。このような点を改善し、さらに、広告の位置が同じであると、アクセスした時に同じ画面にアクセスしてしまったというような単調さを感じることもあり、本実施例に拠れば、より楽しい広告効果を上げることができる。

【実施例4】本発明は1つの広告を長時間保持させる方法ではなく、定期的に折り込み広告や通知形式で広告付き番号等を配信し、それを集めることにより継続して顧客に広告を保存させる広告システムである。例えば、図3に示すような1週間に1度の新聞折込広告(4)を行うとする。このときに、配布広告隔(5)に例えば数字を掲載する。数字は全広告で同一でも、広告ごとに異なる数字を掲載しても良い。そして、数字の合計が一定数字を上回ったとき、あるいは同じ数字が集まったときに当たりとし、それを広告店に持参することによって景品をもらえるというシステムである。このようなシステムであれば、顧客は一定期間同じ店の広告を注目して見るようになり、その店の宣伝効果は高いものとなる。

【0017】

【発明の効果】本発明に係るビンゴゲームによる広告方法及び広告入りビンゴゲームは、複数の時間間隔を設けた通知により懸賞要件の発表を行うため、一定期間継続して広告を保存する必要がある、顧客の目にとまる機会が増大し、広告効果を上げるのできる広告システムである。特にその通知方法をE-Mailで行うことで、顧客には確実に印象付けて通知案内が可能となる。また、通知毎に広告位置を変更する方法では、広告間の不公平をなくし、効果的な広告の提供が可能となった。またホームページそのものにおける単調さの解消にも役立つ。また、ビンゴゲーム等の当たり番号等で形成されたゲームにあつては、番号の代わりに広告としたり、番号の台紙に広告を掲載することで、広告を何度も目にする 50 ことになり、広告効果が非常に高いものとなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明第1実施例を説明するための説明図。

【図2】本発明第3実施例を説明するための説明図。

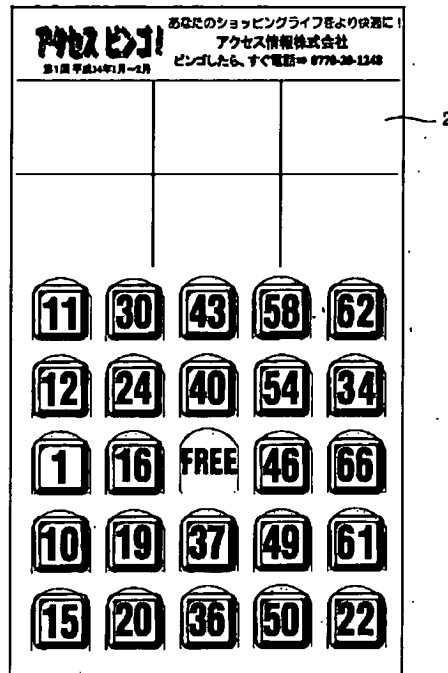
【図3】本発明第5実施例を説明するための説明図。

【符号の説明】

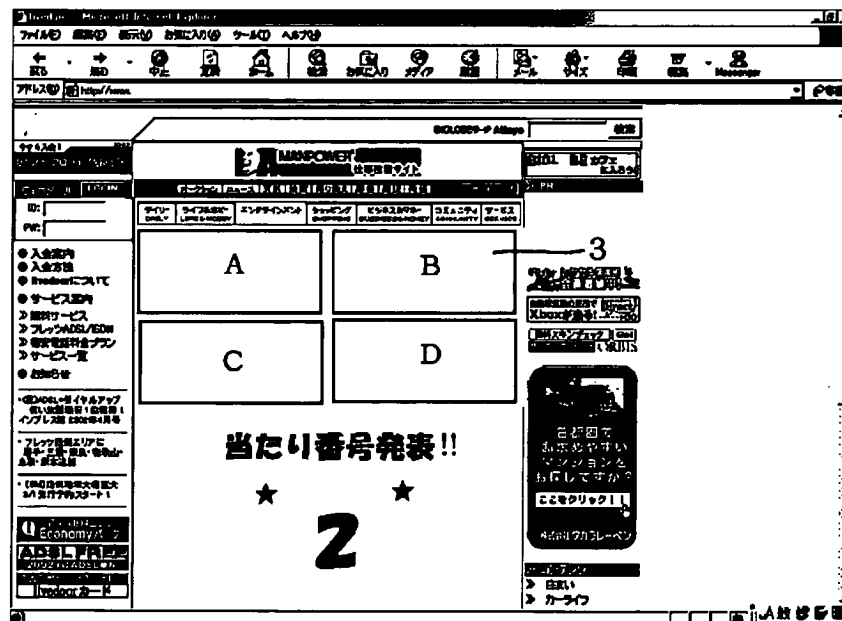
- |   |          |
|---|----------|
| 1 | ビンゴゲーム台紙 |
| 2 | 広告欄      |
| 3 | 広告欄      |
| 4 | 新聞折込広告   |
| 5 | 広告隔      |

【図1】

1



【図2】



【図3】

4

**環境に配慮したエコペーパー。**  
再生コピー用紙もご用意しました。

**上質紙と同等の白さ**  
GREEN  
582058100%  
白度80%

パーンパルプを一切使わず、古紙のみで作られた「再生コピー用紙」。官紙の配合率100%ながら、上質紙とほぼ同じ白さを実現しました。

**再生紙100%でもこの価格!**  
GREEN  
582058100%  
白度80%

原料に古紙だけを使った。より環境に優しいコピー用紙です。

**白色度が高く厚みがあるの。カラーコピーにもOK**  
フルカラーコピー用紙  
A4、2,500枚 ¥3,950 790円

**今週の数字**  
**2**

大塚市中央図書館

5